

取組の背景・目的

- 子ども・子育てプラザ下井草は乳幼児を主たる対象とする施設として令和元年度にオープン。
- 子ども・子育てプラザの機能のひとつである「利用者支援事業」を実施するにあたり、まず地域で乳幼児の居場所を運営している団体の情報収集が必要だった。
- 地域で実施している乳幼児親子の居場所の運営団体同士がつながり、情報交換や地域の課題について共有するためのネットワークづくり。
- 運営団体同士が横のつながりを活かした事業を展開できるようにするため。
- 新しい施設である子ども・子育てプラザの役割を地域に周知するため。

取組の概要

○子育て支援情報交換会

- 場所 子ども・子育てプラザ下井草
- 実施頻度 1回（5月～6月）
- 職員体制 常勤2名
- 事業実施 直営
- 内容 乳幼児親子の居場所を運営している団体のネットワーク会議

○子育てフェア

- 場所 子ども・子育てプラザ下井草
- 実施頻度 年に1回（9月頃）
- 職員体制 常勤2名
- 事業実施 直営
- 内容 乳幼児親子の居場所を運営している団体のPRイベント

○のび～のひろば

- 場所 子ども・子育てプラザ下井草
- 実施頻度 月に1回
- 職員体制 常勤2名、地域ボランティア4～6名
- 内容 各団体のチラシを設置
乳幼児親子の居場所を運営している団体がPRするコーナーあり

工夫点・留意点

- 各団体の活動を見学させていただいたことが、「つながる」はじめての一歩となった。
- 地域にたくさんの乳幼児親子の居場所があり、サポートメンバーを知ってもらうために、直接子ども・子育てプラザ下井草の利用者にPRできる機会を設けている。直接PRをすることで、どのような方がどのような居場所を運営しているかが伝わり、安心して利用できる。



取組の効果

- 乳幼児親子に地域の居場所情報をPRする機会となっている。
- 運営団体同士の横のつながりができ、お互いのチラシを設置したり紹介したりすることで、各団体の利用促進につながっている。
- 各団体の活動にお互いが協力しあうなどの連携も広がってきている。

課題・今後の展開

- 各団体のチラシを乳幼児親子が把握するのは困難。情報をスマートに届けるために、地域団体の活動をまとめた紹介リーフレット作成中。
- 地域の課題を共有するだけでなく、対策について具体的に検討し取り組んでいく。
- 乳幼児親子のニーズを把握するために、アンケート等を活用していく。
- よりよい居場所となるよう利用者も巻き込んだ居場所づくりをめざす。